

森里川海ミニフォーラム in 妙高 2015.12.19

希少種保全 水辺での取り組み



上越市キタノアカヒレタビラ生息地での
外来魚駆除活動風景

生物多様性保全ネットワーク新潟
環境省希少野生動植物種保存推進員 井上信夫

◆進行する生物多様性の危機

- ・ **生息環境悪化・過度の採取**
 …河川改変、水質汚濁、森林伐採、希少動物・山野草乱獲
- ・ **管理放棄**
 …中山間地・里地・里山の荒廃、耕作放棄地の拡大
- ・ **移入種の参入・在来中型～大型動物の分布域拡大**
 …侵略的外来種、飼育・園芸種、鳥獣害の増加
- ・ **地球温暖化の進行**
 …高標高地の生物相への影響、海面上昇



河川横断構造物



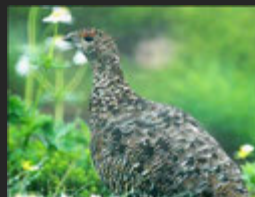
管理放棄されたスギ林



県境を越えて広がるウチダザリガニ



分布をひろげるニホンジカ



追い詰められるライチョウ

◆希少化する在来生物

…新潟県レッドリスト(淡水魚)の例

22種(2001年)→33種(2015年)／1.5倍に増加

新規選定12種



ゼニタナゴ:新潟県絶滅／記録のみ



コシノハゼ:絶滅Ⅰ類



キタノアカヒレタビラ:絶滅Ⅱ類



ジュウサンウグイ:絶滅Ⅱ類



ヤリタナゴ:準絶滅危惧



カジカ大卵型:準絶滅危惧



アベハゼ:地域個体群

カテゴリー変更(ランク上昇)11種



ニホンイトヨ:絶滅危惧Ⅰ類



クロヨシノボリ:絶滅危惧Ⅰ類



ニホンウナギ:絶滅危惧Ⅱ類



シロウオ:絶滅危惧Ⅱ類



ウケクチウグイ:絶滅危惧Ⅱ類

分類見直しによる統合1種



トミヨ属淡水型(トミヨ+イバラトミヨ):絶滅危惧Ⅰ類

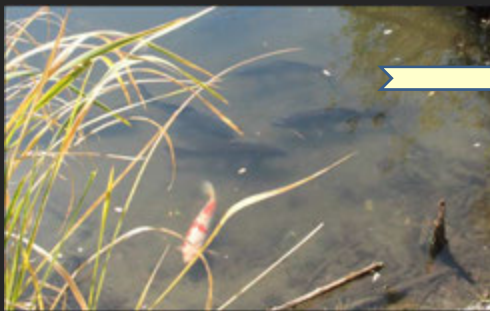
考えられる希少化の原因

1. 生息環境の悪化
河川改修等による悪影響は継続しているが、水質汚濁や農薬被害は改善傾向にある
2. 北米原産のサンフィッシュ科魚類、特に近年増加中のコケチバス、魚食性のカワウによる食害が影響していると考えられる



◆最近目立つ飼育・園芸品種、ペット動物の移植放流

- 都市公園を中心に、ニシキゴイ、ミシシippアカミガメ(ミドリガメ)の遺棄




新潟市じゅんさい池公園のニシキゴイ・黒ゴイ
10年前には1尾も見られなかった
(新潟県内のコイは、西アジア原産の外来飼育品種)

民家で飼育されていたコイが世代変わり
遺棄されたものと見られる

希少種のタヌキモ・
サンショウモ消滅
コイによる食害が疑われる



毎年1万5千尾のニシキゴイ放流
(なぜか平成9年度新潟県環境賞)



**各地で増加している
ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)**

ペットとして年間数十万～200万尾が輸入され、一部野外に放されて定着。都市部を中心に増殖中。場所によってはカメ類の80%以上を占める

・・・水生動植物の食害、在来カメ類との競合が問題化
外来生物法「要注意外来生物」
→ 生態系被害防止外来種リスト「重点対策外来種」

「動物愛護管理法」で遺棄は禁止
100万円以下の罰則がつく

それでも止まらない遺棄 公園来訪者の餌やり

平成27年7月 環境省公表
「アカミミガメ対策推進プロジェクト」
平成28年度モデル事業実施予定

アカミミガメ対策推進プロジェクト

アカミミガメ対策の目指す方向

国内からの輸入のストップ	業者による海外からの輸入がなくなることで、個人等の新規輸入がなくなる
「捨てガメゼロ」と「野生放棄」	個人が飼育している個体及び業者が保管している個体について、捨てガメ、逃がしなどの適正な飼育管理が促すことで、野外への輸入がなくなる
防除の推進	国内の必要な場所において野外個体の防除が進み、アカミミガメ個体群が縮小する
生態系の再生	アカミミガメの被害軽減、地域環境により、地域や国の生態系が再生へ向かっている
理解の向上	再生された生態系を享受することでアカミミガメ対策を進め、市民理解の重要性の理解が深まる

実現に向けた4つのプロジェクト

- アカミミガメによる生態系等への悪影響の少ない社会を実現するため、国、地方自治体、民間団体、市民一人一人等が責任を持ち、協力、役割分担の下で防除等を進めることが必要。
- 以下の4つのプロジェクトを進めることで実現を目指す。

施策：防除プロジェクト (新習得者の育成と計画策定)	アカミミガメの生態状況、悪影響、影響が生じている又は生じやすい地域・生態系の把握、防除の現状及び課題等について、モデル事業による検討の上、役割分担等を念めた計画の策定。
施策：飼育プロジェクト (野生放棄の削減)	自治体におけるアカミミガメ飼育のあり方の認識を向上させ、アカミミガメ飼育者の人海による増加・移動の抑制。
施策：防除プロジェクト (自然的な防除)	十分な防除体制を確保した上で、輸入及び飼育等について、捨てガメが生じないような段階的な規制を検討。アカミミガメ以外の外来ガメの規制についても合わせて検討する。
施策：防除プロジェクト (野外からの防除)	調査・対策プロジェクトを進めたと防除の体制等を構築し、国、自治体、市民団体、個人等の協力による広域的な防除を推進。

●平成27年度に、事前の調査として、アカミミガメによる生態系影響、全国の生態系状況の検討、実証的調査等を実施する。それらを経て、平成28年度からモデル事業を実施予定。

身近な外来生物問題の認識・理解・行動
地域の協力の認識・理解・行動

本来の生態系の回復による地域の魅力の向上

環境省ホームページ「アカミミガメ対策推進プロジェクト」の公表について(お知らせ) より転載

ルーツ不明のメダカやホタル、園芸スイレン、ユキワリソウ
困った「善意」の移植・放流



天然水域に放されたミナミメダカ



ゲンジボタル



新津丘陵の雪割草・・・園芸品種？
遺伝子汚染が懸念される



バイオテクノロジーによるイワユリの増殖、植栽
(平成19年度新潟県環境賞)



各地の池で繁茂する外来スイレン

かわいい猫は小さな猛獣！



人間は本当の
ネコの怖さを
知らない・・・

日比谷公園のネコ：野良猫？ノネコ？都会ネコ？

AFP BBNEWS 2013.1.29 英科学誌 Nature Communications 研究報告
米国内で屋外に自由に出られるネコが殺している数
・・・年間 14億～37億羽の鳥、69億～207億匹の哺乳類

国際自然保護連合公表のレッドリストによると・・・
島に生息するネコが原因で絶滅した動物
・・・鳥類、哺乳類、爬虫類合わせて33種
新潟県粟島でも海鳥のヒナを捕食している



環境省パンフレット

◆家猫 ⇄ 野良猫 ⇄ ノネコ(緊急対策外来種) ……事実上境界はない

自由に屋外に出入りする飼い猫も小動物にとって脅威！

ネコがもてはやされ、無責任な餌やりが横行 NHK「世界ネコ歩き」はこれを助長していないか？

◆「希少種」指定によって保護が前進するか・・・

- ・外来生物法2005
- ・生態系被害防止外来種リスト2015
- ・国県市町村レッドリストなど・・・

しかし、保護のためのレッドリスト掲載により
希少種の乱獲が増えている現実も タナゴ1尾数百円？

・・・希少種生息地を非公開のままにしておくか、
保護活動の輪を広げるために公開すべきか

「国内希少野生動植物種」指定でも止められない開発行為
アユモドキ生息地で進められる京都スタジアム建設・・・魚類学会や多くの環境団体が計画の撤回を求めたが・・・



京都府と岡山県の2ヶ所に残ったアユモドキ
亀岡市ホームページより転載
撮影者：平井智法氏



【亀岡駅】魚沢公園4階のホーム(始発・折り返し不可) 平均15分間隔、ダイヤ改正後(土曜)20分間隔(22分)

◆私たちが進めている活動

…県内各地の団体、有志と連携しながら
地域在来・固有の動植物の保全する

●トキの島佐渡の外来魚対策

…環境の島佐渡にブラックバスは似合わない！

:2011年からオオクチバス・ブルーギル駆除活動
溜池：水田地帯の源流にあり、田んぼの生きものの揺籃の地
(その多くが侵略的外来種の供給源になってしまった)



●国定公園 佐渡ドンドン山のフランスギク対策を開始

…花の島佐渡にフランスギクは似合わない！



ドンドン山避難小屋前の群落
(花の盛期やや過ぎる)

ヨーロッパ原産：本州寒高冷地に増殖、問題化
生態系被害防止外来種リスト「その他の総合対策」



2015年7月 抜き取り試験

●上越市の「南限のキタノアカヒレタビラ」保護活動

2004年の調査で確認される。
他地域からの生物の持ち込み、釣り等禁止の保護地区。

しかし、バス釣りが行われ、ブルーギルも侵入、増加
 …アカヒレタビラは減少傾向
 …絶滅回避のための生息地作りと外来魚駆除活動を開始



新潟県レッドリスト「絶滅危惧Ⅱ類」
環境省レッドリスト「絶滅危惧ⅠB類」



今後の方向

- ① 遺伝的多様性の維持を図りながら、新たな生息地を増やす
- ② 原産地の個体群の回復、外来魚対策の強化
- ③ 地域や子どもたちを巻き込んだ活動（公開できる水域で）
- ④ 乱獲防止体制の確立
- ⑤ 保護活動を担う地元組織の立ち上げ

●子どもたち、ファミリー対象の自然体験活動、各種シンポジウム

親子魚探検隊、里山観察会など



●検討中の課題：外来カメ類対策、イシガメ生息状況調査

これまで確認されたカメ類：新潟懸天産誌(中村正雄著 大正14年刊)にはイシガメとスッポンのみ
クサガメ・イシガメ・スッポン・ミシシippアカミガメ・リパークーター
キバラガメ・カミツキガメ・ワニガメ



クサガメ黒化オス
イシガメと誤認される
ことが少なくない
※国外外来種の
可能性濃厚

ニホンイシガメ：ごく稀
本土在来であるが、県内には
自然分布しなかったとの説も
なぜか「佐渡に分布」の記載

「ワシントン条約付属書Ⅱ」掲載

環境省では、飼育繁殖個体、甲長8cm以下の野外採取個体に限って
輸出を認める方針を発表(早速、売れない個体の大量遺棄がおきた)



2015.12.18撮影

管理者の理解が必要であるが...
某県立公園のมาสコツキャラクター「カメ吉」

◆全県のカメ類の生息状況を洗い直し、 イシガメの保護、外来カメ対策を検討中

新潟県内で確認された淡水カメ類(1) 【新潟県環境自然部 新潟県環境政策課 撮影】

ニホンイシガメ(イシガメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

クサガメ(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

スッポン(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

アライグマ(クサガメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

ワニガメ(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

ミシシippアカミガメ(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

リパークーター(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

キバラガメ(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

カミツキガメ(カメ科) 【環境省レッドデータブック 絶滅危惧種(準絶滅危惧種)】

Detailed information about various turtle species including their status, characteristics, and distribution in Niigata Prefecture.